

コミュニケーション応用Ⅱ クリティカル・シンキング		出口 剛司	
1 単位	秋学期	2 年次	
1 授業の概要・到達目標 この授業では、現代社会を見通し、必要な社会の仕組みや制度を構想する力を身に着けることをめざしています。私たちはグローバル化が進展するなかで、ますます不透明さが増す社会に生きていかねばなりません。そうした社会のなかで生き抜く力としてのクリティカル・シンキングを身に着けます。クリティカルとは、単に批判的であるという意味ではなく、よりよいを構想する力によって支えられています。本授業の目標も、そうした構想力を引き出すことに置いています。			
2. 授業内容 * 講義内容は必要に応じて変更することがある。 1. クリティカル・シンキングとは 2. 女性、男性の生きづらさを解明する 3. 格差社会のジェンダー 4. まとめ 5. 働くことの意味 6. 勤労倫理の歴史と現在 7. まとめ 8. ほしいものは何ですか？ 9. 社会のなかでつくられる欲望と消費 10. 「自分らしさ」の迷宮を抜ける 11. いま、エリクソンを読み直す 12. まとめ 13. 心を管理する時代 14. 自己啓発と自己コントロール 15. まとめ			
3. 履修の注意・準備学習の内容 学期中に1～2回程度の文献報告（要約と紹介）を担当してもらいます。			
4. 教科書 豊泉周治ほか『〈私〉をひらく社会学』大月書店,2014 年			
5. 参考書 鈴木健人ほか編『問題解決のコミュニケーション』白桃書房, 2012 年			
6. 成績評価の方法 報告（30％）と学期末レポート（70％）に基づきます。ただし全回数の3分の2以上の出席を履修の条件とします。			
7. その他 本授業を通して、友人と「議論する楽しさ」を体感しましょう。			